事例No.	2003
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	富山県富山市

事例区分	DX

タグ	・情報公開 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	住民生活

事例内容・タイトル

情報公開Webサイトによる市民生活等に役立つタイムリーな情報の提供

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

23 情報公開Webサイトによる市民生活等に役立つタイムリーな情報の提供【富山県富山市】

事業の概要

○　富山市は、令和3年4月に市が推進するスマートシティ関連事業に関する情報を公開するWebサイトとして、「Toyama Smart City Square(富山市情報公開サイト)」を開設した。

○　市は、スマートシティ事業として、「富山市センサーネットワーク事業」や「富山市ライフライン共通プラットフォーム事業」などに取り組んでおり、これらの事業等によって得られた情報（窓口混雑状況、河川水位情報、消防車両出動情報、道路工事・通行制限情報等）をサイト上で一般に公開することにより、市民生活等に役立てることを目的としている。

QRコード

Toyama Smart City Square
富山市情報公開サイト

【参考情報①】 人口：41万人
関連URL：https://tscs.city.toyama.lg.jp

【参考情報②】
地方創生推進交付金Society5.0タイプ（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/souseikoufukin.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



人口減少によるマンパワーの減少を補完するため、IoT等の利活用が当たり前な持続可能な社会の実現を目指し、「富山市センサーネットワーク」を構築するとともに、市民にスマートシティの利便性を実感頂くために、情報公開サイトを開設しました。

（富山市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



情報公開用Webサイトの事業化にあたっては、内閣府の地方創生推進交付金Society5.0タイプ（令和2年度から3年間）を活用しました。また「富山市センサーネットワーク」を構築する際には総務省のデータ利活用型スマートシティ推進事業（平成30年度）を活用してIoT用のネットワーク網と都市OSを整備しました。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



まずは小さなことからでも始めることが重要です。市民が日常使いできる様な情報から取り組む方が、成果が分かり易く、市民と庁内双方の理解が得られやすいかと思います。

★担当：富山市企画管理部 スマートシティ推進課★

令和3年度事業費　1,990千円
（うち、地方創生推進交付金Society5.0タイプ（内閣府）　995千円）